

## 【教育実習の実施例】

	教育養成系大学・学部	一般大学・学部
	上越教育大学	信州大学(一般学部)
概 略	<p>○1年次 「教育実地研究Ⅰ(観察・参加)」 ・時期 5月 ・期間 1週間</p> <p>○2年次 「教育実地研究Ⅰ(観察・参加)」 ・時期 5月又は10月 ・期間 1週間</p> <p>⇒ 1年次に僻地小規模校、特殊教育諸学校での観察、参加。2年次に幼稚園での観察・参加を位置づけ、発達段階、学校規模、障害の有無による教育の差異について理解させ、教職を目指す上での課題と自覚を高める。</p> <p>○3年次 「教育実地研究Ⅲ(初等教育実習)」 ・時期 9月～10月 ・期間 3週間</p> <p>⇒ 直接的な指導実習を通して、児童理解を深め、児童の実態や心情を理解し授業に関する実践的能力を高め、学級経営、特別活動に参加する中で、教師の職務と責任を理解させ、教職を目指そうとする意欲と堅実な態度を育てる。</p> <p>○4年次 「教育実地研究Ⅷ」 ・時期 5月～6月 ・期間 3週間</p> <p>⇒ 中学校・高等学校教員免許状の取得希望者に対して、初等教育実習の経験の上に、中・高等学校における生徒の発達特性の理解の上に、学習内容の系統性、発達段階を考慮した学習指導法について理解を深め、学級経営及び特別活動の実践力を高め、中学校・高等学校教員としての資質・能力の育成を図る。</p>	<p>○4年次 「中学校教育実習」又は「高校教育実習」 ・時期 5月～7月 ・期間 4週間</p> <p>⇒ 教科、教職専門科目の学びを通して取得した理論・知識・技能を教育現場での実地体験で確認するとともに、実際に生徒に接し教育指導にあたることによって、教師としての適性を把握し、現場での教育の在り方、方法等を学ぶ。</p>

	教育養成系大学・学部	一般大学・学部
	上越教育大学	信州大学(一般学部)
教育実習の受講要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「教育実地研究Ⅲ(初等教育実習)」の履修に当たっては、以下の事項を満たしていること。</li> <li>・卒業要件単位のうち、60単位(「教育実地研究Ⅰ(観察・参加)」を含む。)以上について、前年度までに修得していること。</li> <li>・「教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)」について、前年度から引き続き履修又は単位を修得していること。</li> <li>・「教育実地研究Ⅲ(初等教育実習)」を履修しようとする年度において、「初等の各教科指導法」について、履修又は単位を修得していること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学部により異なるが、教職に関する科目の殆どを修得済であるか、一部を履修中であること。</li> </ul>
大学の教員と指導教員による連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育実習指導教員が定期的に実習校を訪問し、指導教員との連絡調整を行う。また、卒業論文指導教員も受け持ちの学生の研究授業等に合わせ、実習先を訪問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近隣の実習校については、教育実習担当の教員が訪問する。</li> </ul>
事前・事後指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「教育実地研究Ⅱ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時期 2年次後期～3年次前期</li> <li>・コマ数 15コマ</li> </ul> </li> <li>⇒ 2年次は基礎的授業技術、3年次は学習指導案の作成の仕方を中心に、教育実習に必要な理論、技術、方法の習得、態度の育成について学ぶ。</li> <li>○ 実習の成果のまとめ、反省及び授業の問題点等について実施。講義4時間。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「教育実習事前・事後指導」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時期 4年次前期</li> <li>・コマ数 10コマ</li> </ul> </li> <li>⇒ 教育実習の意義と課題、教育実習の準備と心得、学習指導の実際、教師の意味と役割などの内容を行う。</li> <li>○ 教育実習の報告及び反省について1日程度(2コマ)実施(翌年度実習を予定している3年次生も出席)。</li> </ul>

	教育養成系大学・学部	一般大学・学部
	上越教育大学	信州大学(一般学部)
教育実習 の受入校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年次 <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属校 約 25 %</li> <li>・協力校 約 75 %</li> <li>・出身校 なし</li> </ul> </li> <li>○ 4年次 <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属校 約 25 %</li> <li>・協力校 約 75 %</li> <li>・出身校 なし</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4年次 <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属校 なし</li> <li>・協力校 約 10 %</li> <li>・出身校 約 90 %</li> </ul> </li> </ul>
単位認定 評価基準	○ 実習校からの評価表を基に、成績一覧表を作成し、全実習校による実習評価の会議に諮る。その上で、学内の教育実習委員会で審議を行い、評価を決定。	○ 実習校からの評価表を基に、各学部の実習担当委員(教務委員会、学務委員会等)が総合的に判定。